

まちづくりカフェ 最終回

日時：8月18日（水）18時～19時半
場所：まちの駅（商工会） 緑町7-1



高村隊員の退任に伴い、まちづくりカフェを8月の実施で終了する事となりました。様々なテーマで町を考える場として、また交流の場として、多くの方にご参加いただきありがとうございました。最終回は、これまでの振り返りをしながら、みなさんとお話したいと思っています。たくさんのご参加をお待ちしております。

地域おこし協力隊 3月の予定

6日（金）上川管内地域おこし協力隊研修会
9日（月）芽ぶっく定例会

毎週火曜 わくわく放課後タイム（高村）
ぷっちょな関連作成中（田中）



地域おこし協力隊ブログ

http://vir2.eolas.co.jp/kembuchi_report



絵本の里けんぶち Facebook

<http://www.facebook.com/kembuchi>

高村匠子隊員活動報告

突然のお知らせですが、3月末をもって地域おこし協力隊を退任することを決意しました。
剣淵町の協力隊第1号という事で、自分も含め、行政も町民の皆さんも戸惑いながらのスタートだったと思います。この制度は他市町村でも様々な事例があり、その役割も多様です。剣淵町は隊員の意思を尊重する自由な活動体制でしたので、情報発信や絵本の里づくりの活動を積極的に行うことが出来ました。
私は2年半の活動をとおして「地域おこしとは何か」「自分ができることは何か」をずっと模索していました。というのには自分の役割がよくわからなかったからです。



「モモ」（福音館書店）
作：ミヤギエリ・エンデ
訳：大島かおり

子どものころ読んだ時には、ただのファンタジーでしかなかった「モモ」。大人になり読み返すと、これは現代のことを語っていると感じました。

「地域おこしというのは、その町に暮らしている人たちが、自らの意志で取り組むもの」「こんな町にしたい、という強い思いがあるからこそ、継続できるもの」「ひとりではできないもの」「みんなを取り組むもの」これが自分なりの答えです。
では、地域おこし協力隊として、自分出来ることは何だったでしょうか。「剣淵町で暮らしている人の声をきくこと」「町のために活動している人たちと一緒に頑張ること、応援をすること」「剣淵町の苦手分野のサポートをすること」「自分の想いを伝えること」何のスキルも持たない自分出来るのは、このくらいでした。活動の成果は小さかったかもしれませんが、自分自身の成長の場として、様々な経験をさせていただいたことに感謝しています。
退任後は剣淵町からは離れることになりました（名寄市に転居します）。町民ではなくなりますが、この地域に暮らす者として、これまでとは違う形で未永く、大好きな剣淵町に関わりたいと思っています。地域おこし協力隊としての活動は終えますが、どうか今後ともよろしくお願ひいたします。2年半、お世話になりました。本当にありがとうございました。

田中紘子隊員活動報告

今回紹介した絵本は、階段の上にあるお餅を動物たちが獲ろうと奮闘する動物のダジャレが効いた民話です。小学生の頃、転校する友達のお別れ会に各班が出し物をする事になり、私たちの班はこの劇をすることにになりました。班は5人でしたがダジャレができる動物を増やせば出来るね。ということまで皆と考えましたが、「チュウイ」「おオイタチ」「ニャンともない」から続く動物が閉きません。結局「痛いワン。」で犬に決定。当日は天井すれすれに机を積み上げて教室中を驚かせました。絵本は想像する力と様々な記憶がよみがえってきます。改めて絵本の魅力を感じた一冊です。

「ねずみ にわとり ねこ いたち」
著：望月新三郎
絵：二俣英五郎
(ポプラ社)



ねずみと猫が仲良しだった頃の話。それぞれの動物たちの「ダジャレ」が効いた、かわいいお話です。



2月7日 エアボード大会
初参加でした。平然と滑る参加者と想像以上のスピードに怖気づきました。



2月8日 天塩川フォーラム
今回もフライヤー作成に携わらせていただきました。こういう機会をもっと増やしたいです。



2月12日 しべつくる〜る試作品づくり見学 町外の団体を見学することは、とても勉強になります。

剣淵町キャンペーンガール ぷっちゃんが行く!

© 剣淵町

「ぷっちゃんの小部屋」

<http://vir2.eolas.co.jp/puchi-na/>

ぷっちゃん活動記録

- H27. 1. 24 北海道ありがとうマルシェ (札幌市)
- H27. 1. 28 まちづくりカフェ
- H27. 2. 1 マツダ耐寒テストコース 解放イベント
- H27. 2. 15 2015 絵本の里けんぷちスノーフェスタ



★マツダ耐寒テストコース解放イベントでは、新型ロードスターに試乗させてもらい、上機嫌のぷっちゃんでした。

